

商工会・商工会議所の経営支援ご担当者様



商圈ポケット 導入提案書

地域の特徴を、相談の説明資料に

創業・出店や商圈の見直しの相談で、人口・世帯、事業所、道路交通量などの公開統計・収録データを整理し、地域の特徴をA4資料で共有するためのツールです。

統計から読み取れることと、現地で確かめることを整理して、次の相談につなげます。

説明する

相談の論点に合わせて、
地域の特徴をA4で共有。

地域の全体像

比べる

候補地の条件をそろえて、
違いと確認点を整理。

候補地と市区町村

持ち帰る

必要な帳票を選んで、
次回相談の資料に。

選択とPDF化

まずは、対象を絞った試行導入から

相談テーマと担当者を決め、資料の説明しやすさと、
次の行動へのつながりを確認します。

ご検討にあたって

現在は利用者を限定して運用しています。組織での利用可否・利用条件は個別に確認します。

01 相談の進め方

相談者の問いから、 現地で確かめることまで

初回相談で結論を急がず、問い・地域条件・確認事項を順に整理します。

仮の相談例

実在の事業者の事例ではありません

「惣菜店の出店候補地を比べたい」

01 問いを絞る

誰に、何を、どの時間帯に届けたいかを聞き取り、候補地を比べる目的を明確にします。

残すこと：想定顧客・提供内容・営業する時間帯

02 地域の条件をそろえる

候補地の位置や商圏の範囲を設定。人口・世帯、勤務者など、相談の問いに合う指標を選びます。

確かめること：範囲・年次・指標の定義・推計の有無

03 A4で違いを説明する

候補地を同じ指標で比較し、特徴と読み取りの限界を説明します。必要な帳票を選び、持ち帰れるPDFにまとめます。

使う資料：個別レポート・候補地比較・PDFのまとめ出力

04 次の現地確認を決める

時間帯別の通行状況、道路の横断しやすさ、駐車・搬入の動線、周辺店舗などを現地で確かめます。

次回へ：現地で得た情報を加えて、仮説を見直す

02 現在の機能と資料の使い分け

説明する・比べる・持ち帰る

相談に必要な情報を選び、説明しやすい単位で資料にまとめます。

説明する A4縦の7レポート

商圏ダイジェスト	主要指標から地域の全体像をつかむ
人口・世帯レポート	居住者と世帯構成の特徴を見る
消費購買力レポート	地域の消費規模をモデル推計で捉える
勤務者・就業者レポート	地域で働く人の状況を確認する
事業所レポート	地域の事業所の状況を見る
道路交通量レポート	市区町村内の調査区間の交通量を参照する
最寄り駅レポート	周辺駅の位置と収録された利用実績を参照する

各帳票の対象地域・年次・出典を確認します。推計や収録範囲の主な注意点は、5ページに記載しています。

比べる

2〜3候補地をA4横で比較。市区町村全体との比較には、単独世帯率、高齢者割合、1人当たり年間消費（推計）の3指標を使います。

比較する年次・分母・定義をそろえて解釈します。

持ち帰る

必要な帳票を選び、順序を整えてPDFにまとめます。表紙は任意です。保存できるセットは同じブラウザ内の1件で、帳票の種類と順序のみを保持します。クラウド同期はありません。

03 試行導入の進め方

対象を絞って試し、 相談現場で確かめる

現場の運用に合わせて、対象相談・利用者・確認する内容を先に決めます。

1

利用条件を確認する

組織での利用可否、担当者、対象範囲、説明・問い合わせの方法を個別に確認します。

2

ひとつの相談テーマで試す

創業、出店候補地の比較、既存商圏の見直しなどから、最初の対象を絞ります。

3

必要な帳票だけで説明する

対象地域と比較条件を記録し、帳票を選択・並べ替えてPDF化。相談記録と分けて管理します。

4

振り返って運用を決める

説明に迷った点や不足した情報を共有し、継続や対象の見直しを判断します。

試行で確かめること

- ☐ 相談者に、地域の違いを説明できたか
- ☐ 資料を準備・共有する手順が、現場の業務に収まるか
- ☐ 現地確認や次回相談の論点が具体的になったか

期間・対象件数・支援範囲は、試行前に確認します。

04 データと運用上の留意点

数値の前提を共有して使う

資料を渡す際は、地域・年次・出典・推計の有無も一緒に伝えます。

公開統計・収録データ

出典・調査年・対象範囲は指標ごとに異なり、現在の状況を直接示すとは限りません。円商圈の数値には、面積按分などによる推計が含まれる場合があります。

消費購買力

全国の支出係数と地域の世帯数などから求めるモデル推計です。個店の売上、所得、来店者数を示すものではありません。

道路交通量

令和3年度道路・街路交通情勢調査の調査区間を、市区町村単位の参考情報として表示します。円商圈内の人流ではなく、24時間交通量に推計を含む場合があります。

最寄り駅

駅ごとの収録年、事業者、乗車／乗降の定義を確認します。距離は直線距離で、徒歩経路や所要時間ではありません。

相談情報と判断の扱い

相談者の個人情報や未公開の経営情報の扱いは、所属組織の規程に従ってください。統計は判断を支える資料です。現地確認や聞き取りを重ね、事業成果を保証するものとして扱わないでください。

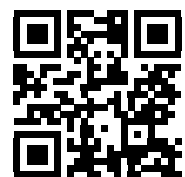
導入のご相談

有限会社起業経営研究所

代表 小坂英雄（行政書士）

お問い合わせ kosaka.main.jp/inquiry/

商圈ポケット machiloupe.jp



お問い合わせ

帳票見本（実データで編集）01 / 商圏ダイジェスト

3km圏の暮らしを読む

愛知県瀬戸市追分町を中心に、居住者と世帯の全体像を確認します。

2020年国勢調査 / 面積按分推計

総人口

106,065

人（推計）

一般世帯

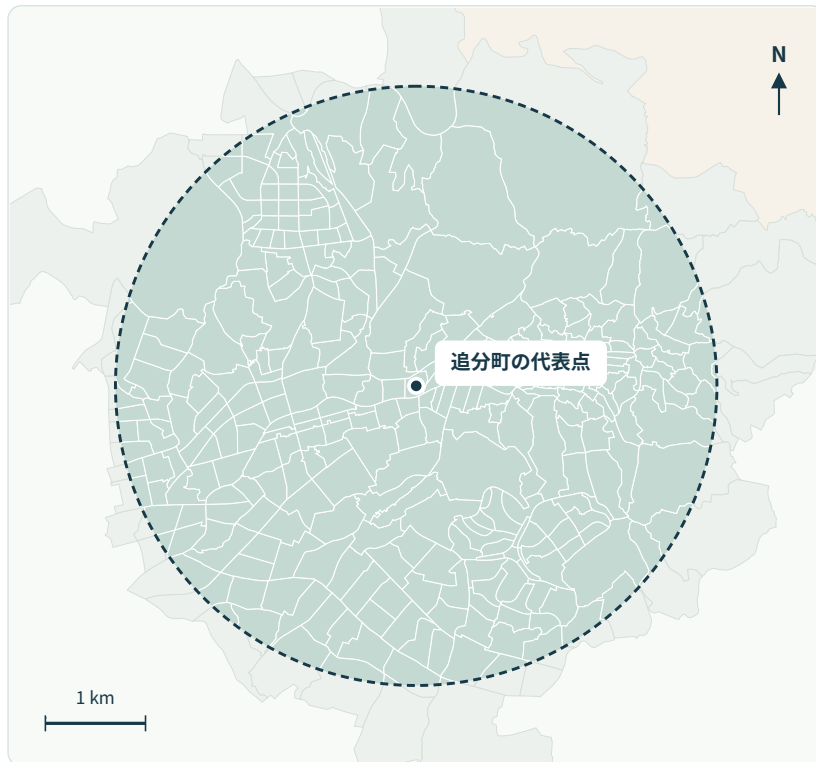
43,752

世帯（推計）

65歳以上の割合

30.0

%（年齢判明人口比）



破線：半径3km / 境界：町丁・字等

対象範囲

瀬戸市追分町の代表点から
半径3kmの円を設定。

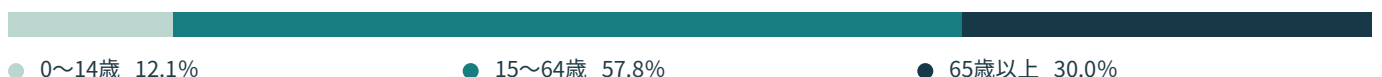
集計の考え方

円と交差する町丁・字等の人口・世帯を、
重なり面積の比率で按分しています。

居住地の均一分布を仮定するため、実数の集計
とは異なります。

年齢3区分の構成

年齢不詳を除く



出典：国勢調査（2020年）小地域集計／中心点：国土交通省（2025年）。
境界：CODH／e-Stat・2020年国勢調査町丁・字等境界を加工（CC BY 4.0）。

方法：円との交差面積で按分。町丁内の一様分布を仮定。秘匿合算区域は一体集計。
年齢割合は不詳を除く。中心点は町丁代表点で、店舗の所在地ではありません。

帳票見本（実データで編集） 02 / 人口・世帯

世代の厚みを、男女別に見る

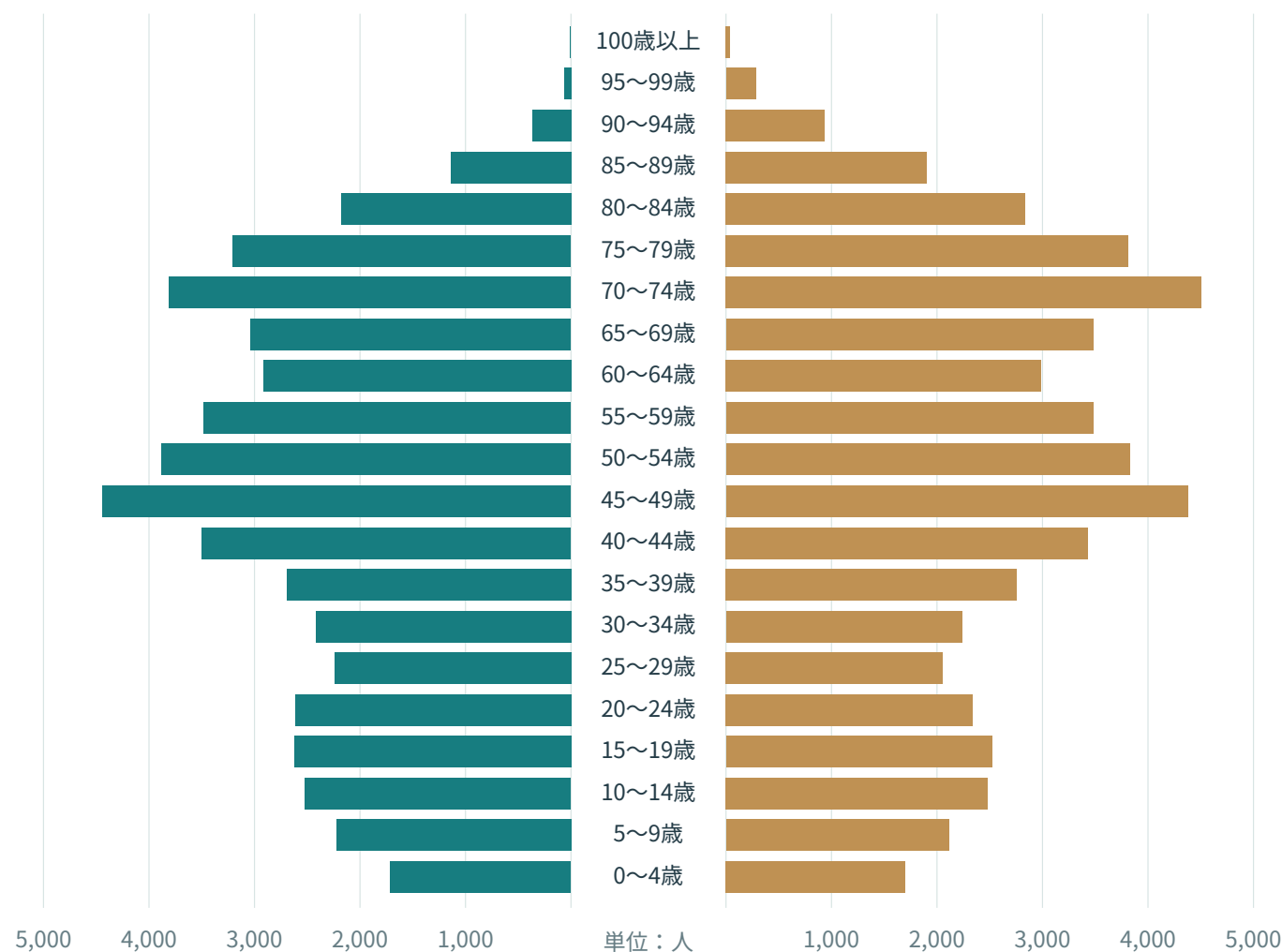
5歳階級ごとの人口構成。生活時間や必要とされるサービスを考える手がかりに。

2020年国勢調査 / 面積按分推計

男性 51,066人

年齢判明人口

54,102人 女性



最も人口が多い階級

45～49歳

8,818人 / 男女計

出典：国勢調査（2020年）小地域集計／中心点：国土交通省（2025年）。
境界：CODH／e-Stat・2020年国勢調査町丁・字等境界を加工（CC BY 4.0）。

方法：町丁別の男女・5歳階級を円との交差面積で按分。各値は四捨五入。
年齢不詳 897人を除く。最上位の階級は100歳以上。

帳票見本（実データで編集） 03 / 消費購買力

外食支出の「規模」と「1人当たり」

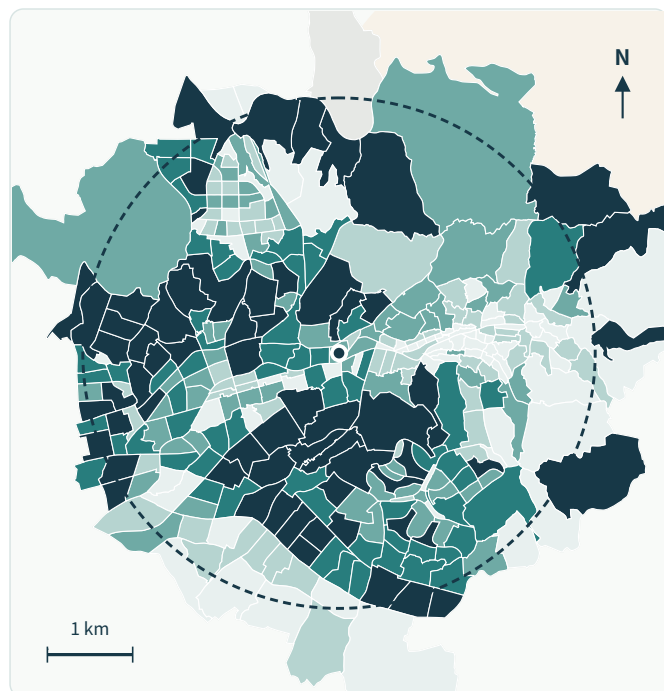
3km圏周辺の町丁別外食支出推計。総額と1人当たりを並べて確認します。

2020年世帯構成 × 2025年全国支出係数 / モデル推計

年間支出総額

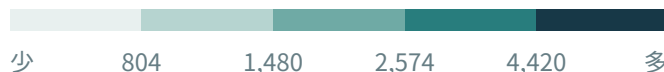
約80.36億円／年

3km圏のモデル推計



破線：半径3km / 境界：町丁・字等

町丁全域・万円／年（5分位）



1人当たり年間支出

約7.72万円／年

3km圏のモデル推計



破線：半径3km / 境界：町丁・字等

町丁全域・万円／人・年（5分位）



色は町丁全域の値／円内合計は面積按分。灰色は秘匿等による非表示。
居住世帯の外食支出モデルで、店舗売上・来店者数・円内消費額ではありません。

出典：国勢調査（2020年）小地域集計・家計調査2025年（全国・単身／二人以上世帯）

境界：CODH／e-Stat・2020年国勢調査町丁・字等境界を加工（CC BY 4.0）。

方法：単独世帯数×146,908円＋その他一般世帯数×198,759円（年額）。

1人当たりの分母：一般世帯人員104,098人（円内推計・施設等の人員を除く）。

参考帳票・市区町村公表統計 / 実データで編集

年収700万円以上の世帯を比べる

瀬戸市と周辺市区の全域を比較。町丁別・3km圏の所得分布は示しません。

2023年住宅・土地統計調査 / 市区町村別・主世帯

瀬戸市・年収700万円以上

11,080

主世帯（公表階級の合計）

瀬戸市・総主世帯に占める割合

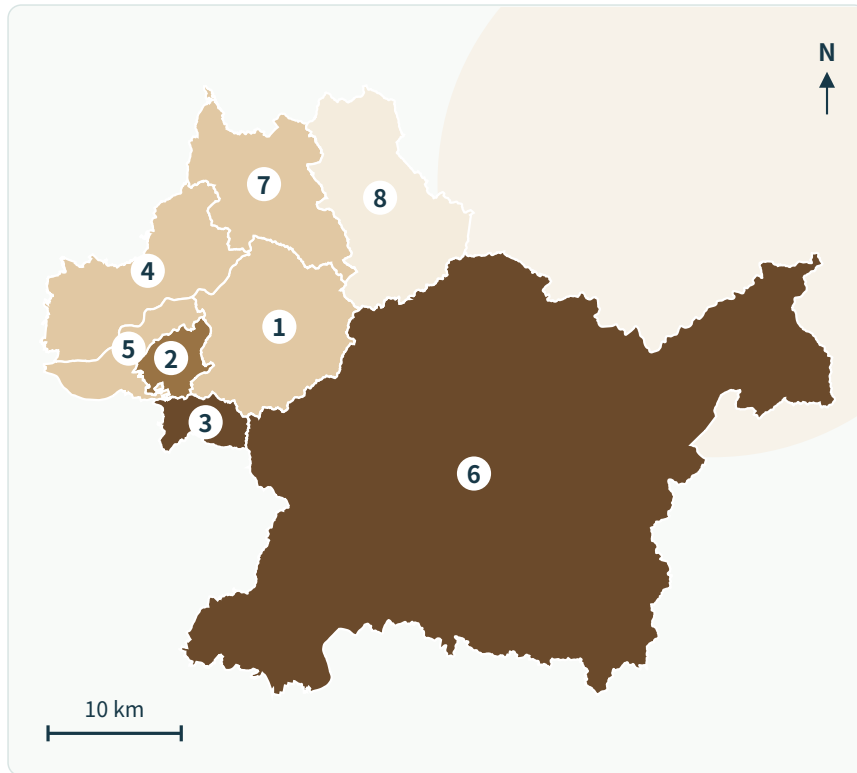
21.1

%（年収不詳を分母に含む）

瀬戸市・主世帯総数

52,550

主世帯（分母）



年収700万円以上の割合

1	瀬戸市	21.1%
2	尾張旭市	25.4%
3	長久手市	29.6%
4	春日井市	22.2%
5	名古屋市守山区	22.1%
6	豊田市	29.0%
7	多治見市	22.1%
8	土岐市	18.8%

市区町村全域の割合 (%)



主世帯：住宅の所有者・借り主など主となる1世帯。年収は世帯全員の税引前収入。

色は市区町村全域の値。
番号は一覧に対応。棒の右端は35%。

出典：総務省「令和5年住宅・土地統計調査」第43-4表（標本調査・10世帯単位）。
境界：CODH/e-Stat・2020年国勢調査境界を市区町村に結合（CC BY 4.0）。

方法：700～1000万円未満・1000～1500万円未満・1500万円以上を合算。
公表統計から別途作成。アプリの町丁別年収分布機能を示すものではありません。
世帯数は10世帯単位の公表丸め値。割合は公表値から算出。